

「人権のひろば」
 に対するご意見、
 ご感想は広報広聴
 グループまたは、
 人権室までお寄せ
 ください。

心のバリアフリーってなんだろう

バリアフリーについて、皆さんはどのようなイメージをお持ちでしょうか。

バリアフリーとは、多様な人々が社会に参加する上での障壁（バリア）をなくすことです。市では、「大東市バリアフリー基本構想」を策定し、道路の段差解消や点字ブロッタの設置、トイレの場所を音声で知らせるなど、設備・施設に

関するハード面の充実に努めています。

一方で、社会全体のバリアフリーを実現するためには、ソフト面の充実も必要です。一人ひとりが高齢者や障害者などが感じている困難を自らの問題として認識し、心の障壁を取り除き、協力する「心のバリアフリー」の促進が大切になってきます。



出前教室の様子

市では、心のバリアフリーを推進するための取り組みの一つとして、出前教室を行っています。これは学校の授業の一環として行い、子どもたちには、さまざまな体験を通してバリアフリーを学んでもらいます。例えば、車いすに乗ったままバ

スを乗降したり、目隠しをした状態で段差や障害物の置かれたコースを歩いてもらいます。さらに、困っている人を見かけた時に手助けが行えるよう介助体験も行います。この教室では、実際に体験することで、バリアフリーの重要性を学ぶことができます。体験を終えた子どもたちからは、「見えにくいのはとても不安だった」や「困っている人がいたら、何かお手伝いしたい」といった率直な感想があり、さまざまな立場に立って考えるきっかけを持てたようでした。

私たちは、「バリアフリー」という言葉だけを聞くと、ハード面の整備だけをイメージしがちです。しかし、心のバリアフリーは、一人ひとりの意識付けや関心を持つことから簡単に始められ、誰でも気軽に行うことができます。みんなが一緒に気持ちよく暮らしているように、まずは、困っている人を見かけたら、積極的に声を掛けてみることから始めてみませんか。

音楽の力で親子を応援

～大阪桐蔭高等学校吹奏楽部によるテレワーク演奏を配信中～

親子で一緒に歌って、楽しめる曲を配信しています。この動画は、大阪桐蔭高等学校吹奏楽部の部員計50人が、それぞれの自宅などで演奏した動画をつなぎ合わせ、合奏としたものです。ぜひご覧ください。

●曲目＝ゲゲゲの鬼太郎、アンパンマンのマーチほか2曲

